

## 第 2 回 クラス図の基礎

### 1. クラス図

クラスとは

クラス図の目的

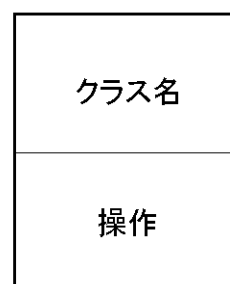
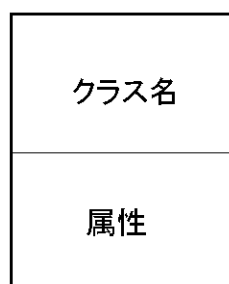
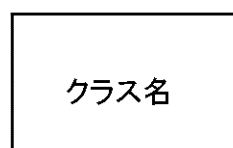
### 2. クラスの表記

<表記法>

<具体例>

クラスの表記の省略例

こう描いても OK



### 3. クラスの属性

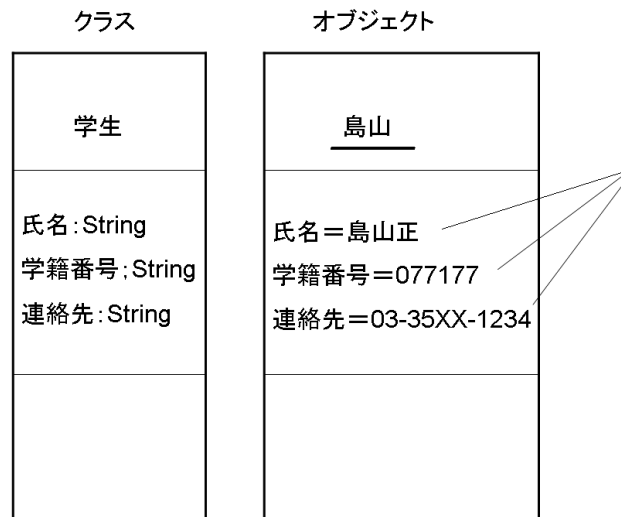
属性とは

属性の記法

属性名：属性の型＝初期値

学籍番号

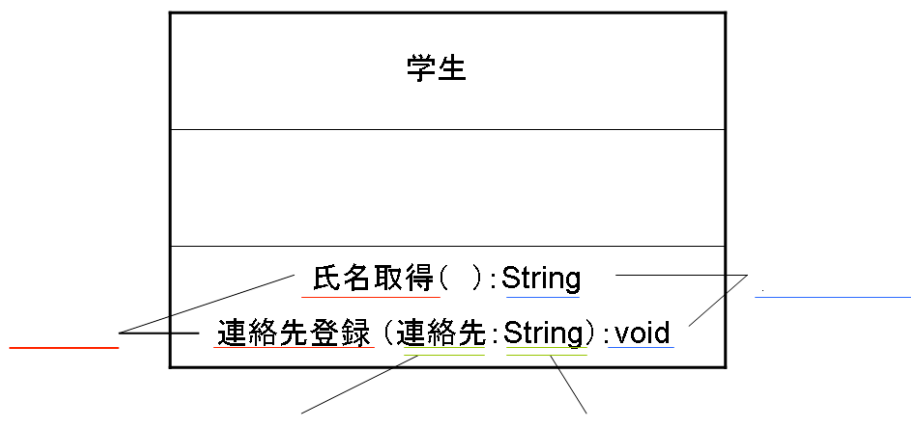
名前



## 4. クラスの操作

操作とは

操作の記法    操作名 (引数名 : 引数の型) : 戻り値の型



## 5. 可視性

可視性の種類

記号	名 前	意 味
+		すべてのクラスから参照可能
-		自分自身のクラスからのみ参照可能
#		自分自身およびサブクラスから参照可能
~	package	自分自身および同一パッケージ内のクラスから参照可能

可視性を含む属性や操作の表記例

6. 関連

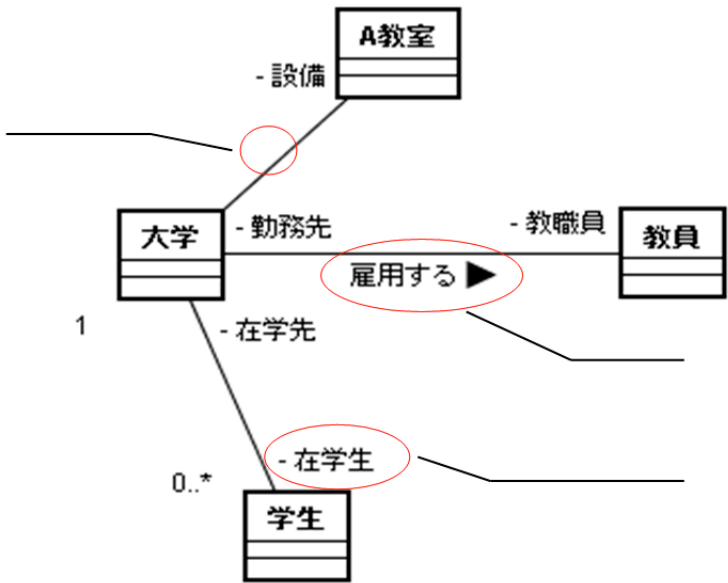
学習モジュール「UML02」の中盤を学習し，以下をまとめましょう．

関連

関連名

関連端名

関連の記述例(意味をメモしておきましょう)



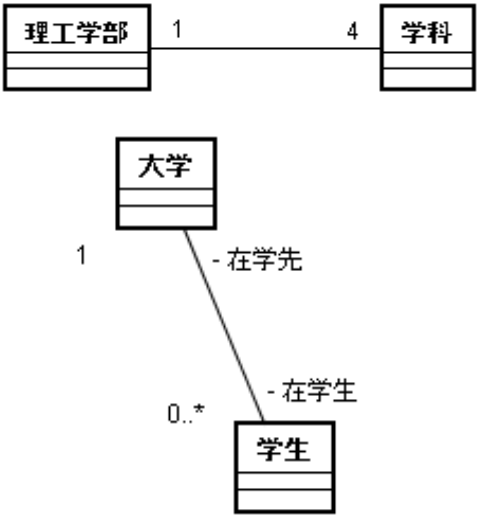
7. 多重度

多重度とは

多重度の記法

記述	説明
0..*または*	
1..*	
1	
0..1	
2..40	

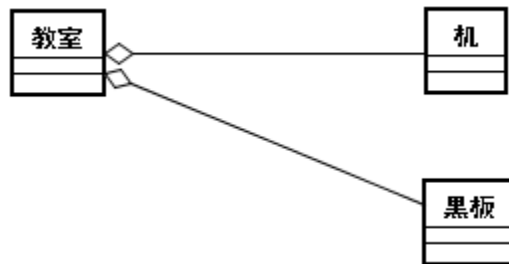
多重度の記述例（意味をメモしておきましょう）



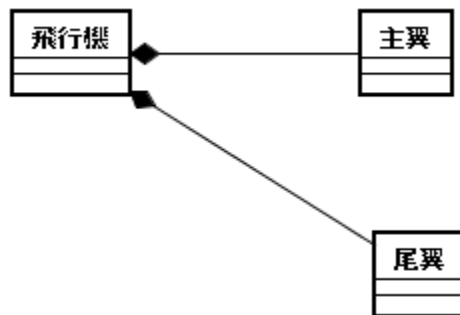
## 8. クラス間の関係

集約

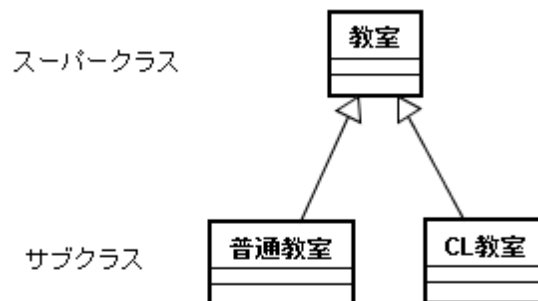
意味をメモしておきましょう。



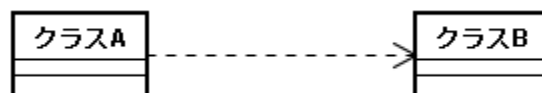
コンポジション



汎化



依存関係



## 9. クラス図を描く際のポイント